

また、石西礁湖及び石垣島周辺の海岸線における漂着ゴミの調査（山口 2002、2003、2005）によると、1998年～2001年の4年間及び2003年、2005年で総ゴミ数約43万個（延べ調査距離約96km）が確認されています。

ゴミの内訳をみると発生元が特定できない不明ゴミが70%、日本製ゴミとわかるものが5%、外国製ゴミとわかるものが25%を占めています。漂着ゴミ自体の多さに加え、外国からの漂着ゴミが多いことがわかります（図 1-38）。

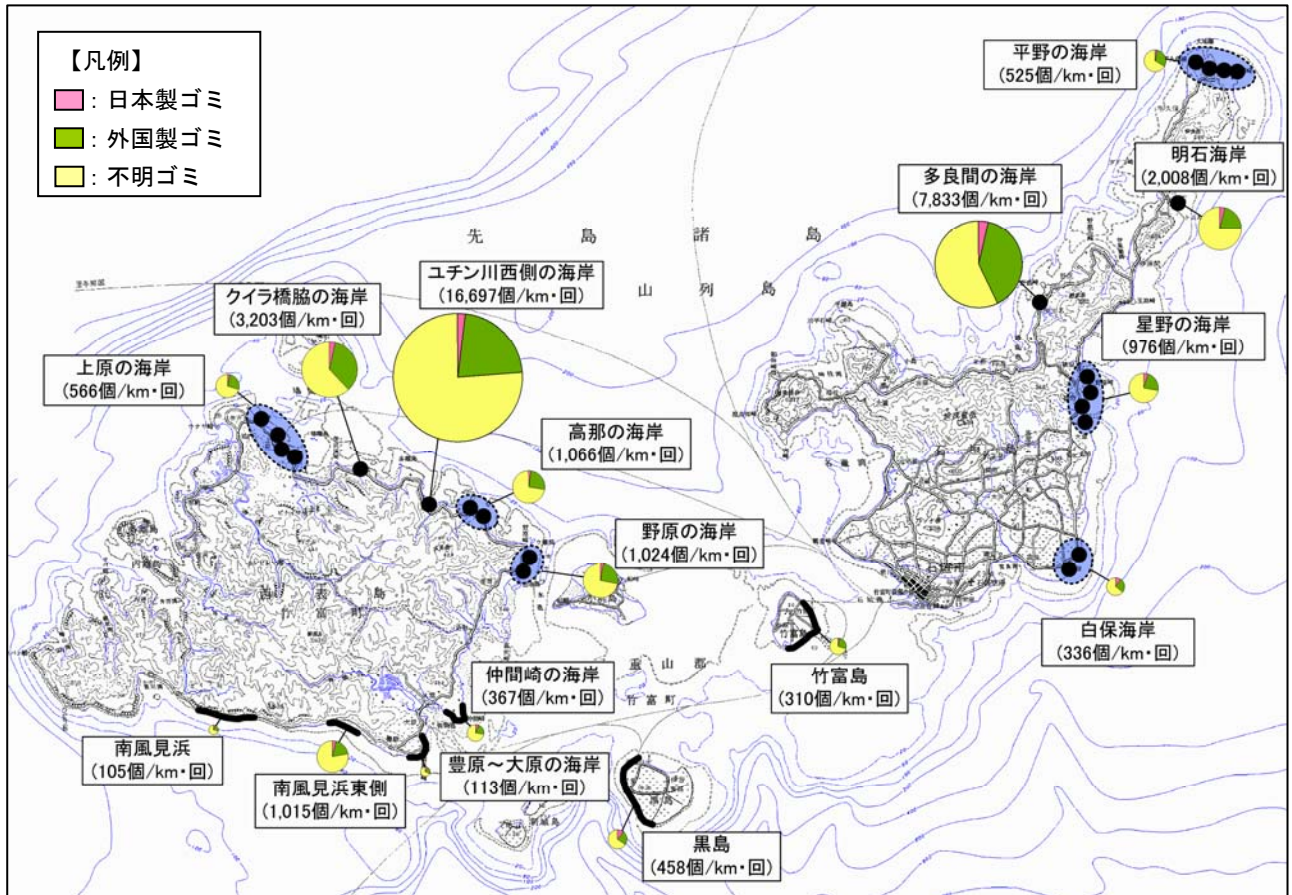


図 1-38 石西礁湖及び石垣島周辺の海岸線におけるゴミの漂着量

（山口晴幸、2002 「漂着ゴミ」（株）文芸社）、「琉球列島漂着ゴミ定期調査 -2003年春季-」、「漂着ゴミに関する調査結果（2005年5月まとめ）」より作図

#### 4. 石西礁湖における自然再生の始まり

自然再生とは、過去に損なわれた生態系その他の自然環境を取り戻すことを目的として、地域の多様な主体が参加して自然環境を保全、再生若しくは創出し、又はその状態を維持管理することです（自然再生推進法第2条）。このような目的に沿った取組は、石西礁湖においても様々な主体によって個別に進められてきました（表 1-4）。

一方、1992年3月、自然と共生する社会を実現するための総合計画として「新・生物多様性国家戦略」が策定されました。「新・生物多様性国家戦略」では、今後展開すべき施策の大きな3つの方向が示され、その中には「保全の強化」、「持続可能な利用」に加え、「自然再生」が位置付けられました。

1992年12月には、「自然再生推進法」が成立し、自然再生事業の基本理念と地域の多様な主体の参加による自然再生を推進するための枠組み、手続が定められました。

また、2005年7月には、環境省が中心となり、石西礁湖の自然再生を進めていく際の基本的考え方の1つとして「石西礁湖自然再生マスタープラン」が関係機関等との協力により策定されました。

ただし、石西礁湖の自然再生を着実に実現していくためには、陸域と海域が一体となった統合的な取組を進めていくことが不可欠であり、地域住民、関係する行政機関、地域で活動を行っている団体、サンゴ礁生態系に関し専門的知識を有する者が共通の認識の下に、互いに連携、協力を密にして行動していくことが必要です。

このため、環境省、内閣府、沖縄県の呼びかけにより、自然再生推進法に基づく「石西礁湖自然再生協議会」が2006年2月に設立されました。

表 1-4 石西礁湖及びその周辺におけるサンゴ礁の保全・再生に向けた現在の主な取組

<NPO、NGO>

名称	概要
石垣島ウミガメ研究会	石垣島周辺の砂浜海岸でウミガメの産卵調査を実施。
石垣島周辺海域環境保全対策協議会	赤土流出防止に関する普及啓蒙活動で、小中学生による赤土調査、月桃グリーンベルトの植え付け、赤土流出防止ポスター・標語コンクール、農家を対象とした研修会などを実施。事務局は石垣市企画部企画調整室。 ( <a href="http://www.city.ishigaki.okinawa.jp/hozenkyou/topics.html">http://www.city.ishigaki.okinawa.jp/hozenkyou/topics.html</a> )
西表国立公園パークボランティア連絡会	環境省が行う自然解説活動の補助、その他の普及啓蒙活動を通じて、西表国立公園の保護と適正な利用を進めるための活動を1995年から実施。
NPO 法人 たきどうん	竹富島において、島の祭事行事を保存継承してきた住民自治組織であり、コミュニティの核である公民館の活動を支えるため、また、埋もれていた地域のお年寄りのずんぶん（知恵）を掘り起こして特産品の開発販売をするなど、島の自然・文化・芸能などを継承していく「遺産管理型NPO法人」として2003年に発足。 ( <a href="http://www.takidhun.org/index.html">http://www.takidhun.org/index.html</a> )

名 称	概 要
コーラル・ネットワーク	<p>世界中で行われているリーフチェックを日本で推進するために活動している NPO。リーフチェックマニュアルの翻訳をはじめとする必要な資料や資材の整備、学識経験者（チームサイエンティストとなりうる方）とのネットワークづくりの推進、各地リーフチェックのチームとの連絡・または立ち上げのお手伝いなどを実施。また、観測ポイントの変化を示せる科学的データの蓄積・公開、海の自然環境保護団体とのネットワークの構築を図るための活動を実施。</p> <p>(<a href="http://www.reefcheck.jp/">http://www.reefcheck.jp/</a>)</p>
WWF ジャパン 白保サンゴ村	<p>主に白保海域での生態調査、保全活動などを実施。白保の集落内では失われつつある人々の生活と海のつながりを復元するため、様々な活動を展開。最近では、「白保魚湧く海保全協議会」を立ち上げ、伝統的な魚垣の修復事業を実施。</p> <p>(<a href="http://www.wwf.or.jp/shiraho/index.htm">http://www.wwf.or.jp/shiraho/index.htm</a>)</p>
日本ウミガメ協議会 付属黒島研究所	<p>以前は、(財)海中公園センター八重山海中公園研究所であったが、現在は上記の組織に改組。ウミガメの産卵調査や保護活動、地元の子どもたちに対する環境教育などを実施。</p> <p>(<a href="http://www.umigame.net/ymprs.htm">http://www.umigame.net/ymprs.htm</a>)</p>
美ら海・美ら山募金	<p>石垣島の自然環境の保全と美化活動のための財源確保及び島民、来島者への普及啓発活動を行うため、募金を集め、環境保全活動を行う団体への助成、普及啓蒙活動などを実施。事務局は石垣市観光協会内。</p> <p>(<a href="http://www.yaeyama.or.jp/chura//index.htm">http://www.yaeyama.or.jp/chura//index.htm</a>)</p>
八重山環境ネットワーク	<p>八重山の海洋環境の保全に向けて、行政機関、団体、個人が連携し、各機関等の施策の相互理解を深めるとともに、地域住民に対する海洋環境保全思想の普及啓発、海岸清掃など海洋環境保全に関する行事等を実施。事務局は石垣海上保安部。</p> <p>(<a href="http://www.churaumi.net/">http://www.churaumi.net/</a>)</p>
八重山漁業協同組合	<p>石垣島、西表島、小浜島、波照間島、黒島、鳩間島の漁業者により組織。大きく分けて、イノーと呼ばれるサンゴ礁海域で営まれる沿岸漁業、リーフ外での沖合漁業、近海マグロ延縄漁業、養殖漁業を実施。近年はサバニを利用した海人体験ツアーを実施。冬季はオニヒトデ駆除活動を実施。</p>
八重山サンゴ礁保全 協議会	<p>八重山のサンゴ礁保全のネットワークの場を目指した非営利組織。八重山のダイビング関係者を主体とした個人や団体の 50 を超える会員から構成。1990 年に発足し、当初はサンゴ群集復元のためのサンゴ移植を中心に活動を展開していたが、現在はサンゴ礁の監視活動を中心に実施。事務局は環境省サンゴ礁研究・モニタリングセンター。</p> <p>(<a href="http://homepage3.nifty.com/sango-hozenkyou/index.htm">http://homepage3.nifty.com/sango-hozenkyou/index.htm</a>)</p>
八重山ダイビング協会	<p>石垣市を中心に八重山地域のダイビングショップ 90 店が加盟。石垣島ダイビングフェスタなどの事業を実施。冬季はオニヒトデ駆除活動を実施。</p> <p>(<a href="http://www.ishigaki.net/yda/">http://www.ishigaki.net/yda/</a>)</p>

<行政機関>

名 称	概 要
石垣市	<p>1994 年度から 2005 年度にかけて、ミドリイシ類の移植によるサンゴ群集の修復を実施。</p> <p>(<a href="http://www.city.ishigaki.okinawa.jp/">http://www.city.ishigaki.okinawa.jp/</a>)</p>
竹富町	<p>西表石垣国立公園の保全管理など自然環境保全に関する活動を実施。2005 年には、新たに自然環境課を設置。</p> <p>(<a href="http://www.taketomi-islands.jp/">http://www.taketomi-islands.jp/</a>)</p>
沖縄県	<p>関係行政機関、関係団体、学識経験者からなる「オニヒトデ対策会議」を設置し、オニヒトデの分布調査を行うとともに、オニヒトデ駆除等のサンゴ礁保全対策を実施。サンゴ礁の現況把握のための調査を実施し、保全すべきサンゴ礁海域を、重要サンゴ礁海域として選定し、サンゴ礁保全対策を実施予定。「サンゴのはなし」等の普及啓発用の冊子を作成。</p> <p>(<a href="http://www3.pref.okinawa.jp/site/view/cateview.jsp?cateid=70">http://www3.pref.okinawa.jp/site/view/cateview.jsp?cateid=70</a>)</p>
環境省	<p>西表石垣国立公園の保全管理など自然環境保全に関する活動を実施。サンゴ礁関係では、石西礁湖の他、石垣島及び西表島周辺において広域モニタリングを実施するとともに、オニヒトデ駆除、自然観察会等の普及啓発活動を実施。また、2000 年には国際サンゴ礁研究・モニタリングセンターを開所。2002 年度からは石西礁湖自然再生推進計画調査を開始し、2005 年 7 月に「石西礁湖自然再生マスタープラン」を関係機関等の協力を得て策定。石西礁湖自然再生に向けた各種調査、サンゴ群集修復事業等を実施。</p> <p>(<a href="http://www.coremoc.go.jp/">http://www.coremoc.go.jp/</a>)</p>
内閣府 沖縄総合事務局	<p>サンゴ礁と共生する港湾整備の実現に向けた保全・再生・利用技術の開発を推進。サンゴ群集の健康診断調査や技術開発に向けた調査のデータをもとに、1999 年には「サンゴ礁と共生する港湾整備マニュアル」、2003 年には「海の自然再生ハンドブック第 4 巻サンゴ礁編」、2007 年には「沖縄の港湾におけるサンゴ礁調査の手引き」を策定。これらの指針をもとに港湾整備におけるサンゴ群集への影響の回避・低減を実施。具体的な事例としては、新港地区整備に伴うサンゴ群集の避難措置の試みとして 1994 年、1996 年、2001 年、2006 年にサンゴの移植実験を実施。</p>